

再生可能エネルギーの全量買取制度 オプション案についての意見

株式会社エネット

平成22年6月9日

意見要旨

今回示された全量買取制度のオプション案では、特定規模電気事業者(PPS)が一般電気事業者と競合しながら獲得の努力をすすめている事業目的用の電源も対象となるため、制度設計次第ではPPSの事業運営そのものに支障が出る可能性がある。よって、PPSの事業拡大の機会や公正な競争環境の維持のために、オプション案について以下3点を要望させていただきたい。

系統負担分も含めて需要家の費用負担が少なく、CO2削減効果の大きいオプションが選択されるべき。以下3点の要望が容れられることを前提に、「ケース3」もしくは「ケース4」が妥当と考える。

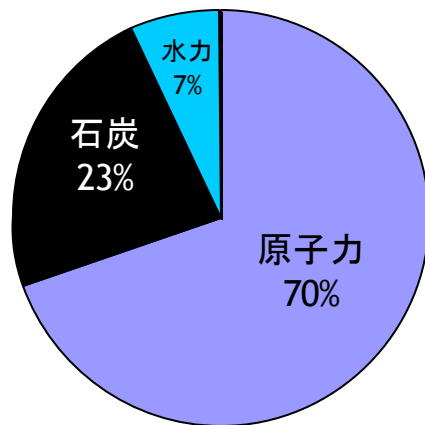
- PPSが再生可能エネルギーを現実的に獲得できる手段を残し、電源確保や温暖化対策の面で一般電気事業者との競争環境が悪化しないような制度設計をお願いしたい。
- 仮にRPS法が廃止されるのであれば、激変緩和措置を設け、再生可能エネルギーを積極的に導入した事業者の努力が無駄にならないような配慮をお願いしたい。
- 系統安定化対策コストが高騰しないよう、需給両面からのスマートグリッドの早期構築をお願いしたい。

1. 再生可能エネルギー電源獲得の代替手段の確保

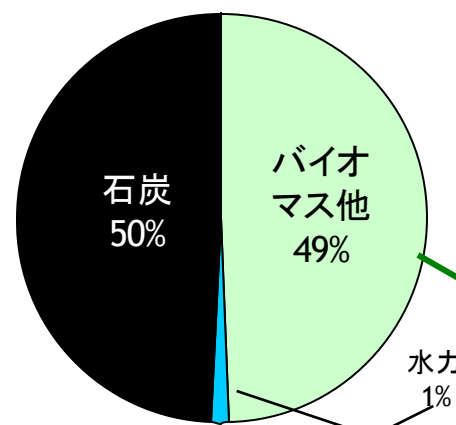
全ての再生可能エネルギーが固定買取の対象となれば、PPSは原子力と大型水力を持つ一般電気事業者との排出係数の格差を埋める電源の獲得手段が奪われ、さらには事業拡大の機会を失うおそれがあるため、何らかの形でPPSが非化石エネルギー電源を利用できる手段を確保いただきたい。

- 排出係数を下げるためには**バイオマス**を主とした**再生可能エネルギー電源の獲得**が必須
- 原子力や大型水力発電を持ち得ないPPSは、**非化石エネルギーのうちベース電源の戦力と見込めるのはバイオマスのみ**

○ベース電源における発電電力量構成比※

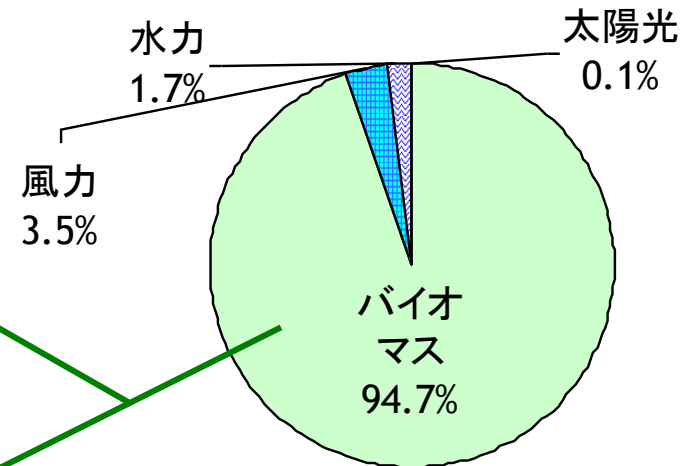


電力会社



エネット

○エネット・非化石エネルギー内訳



排出係数を下げる手段は再生可能エネルギーしかなく、また再生可能エネルギーはベース電源としても重要（特にバイオマス）

※電力会社分は関西電力HPを参考に作成（発電電力量構成比・H21年度推定実績）。但し、水力は一般水力のデータの半分を流込式（＝ベース電源）とみなした。エネットについては電力会社卸分は除いたH21年度実績の構成イメージ。

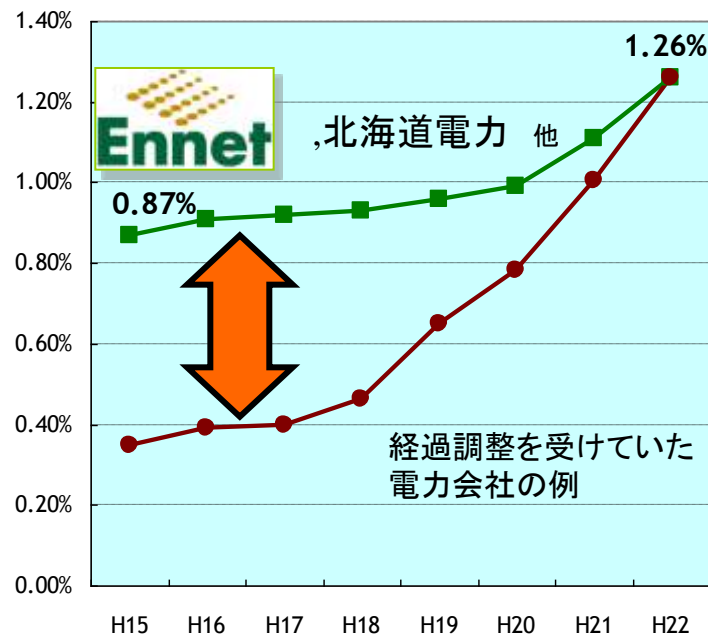
2. RPS制度の経過措置

全量買取制度へ移行する場合はRPS制度の扱いを検討する必要があり、仮にRPS制度が廃止される場合には、RPSの獲得に取り組んできた事業者が不利益を受けないような配慮をお願いしたい。

- PPS各社は、**主としてバイオマス発電設備(清掃工場等)からの電力の調達を積極的に行うなどRPS義務量を達成**しており、温暖化対策等に資する新エネルギーの普及に微力ながらも貢献。
- PPS各社は事業が成長することを前提に、**相対契約(長期契約含む)や入札等**を通じてRPSの義務量達成に向けた努力を継続。

- 毎年度課される義務量を結果的に超えるRPSを獲得し、翌年度の義務量目標に超過分を充当する措置(=**バンキング**)をとっている事業者には、**再生可能エネルギーの導入を国の定めた目標以上達成したことを踏まえて、獲得したRPSが有効に活用できるような措置**をお願いしたい。
- 全量買取制度の対象が新設のみとなる場合は、RPSの価値に期待して電源を運用してきた**発電事業者にも激変緩和措置の適用**をお願いしたい。

○電気事業者のRPS利用義務量比率



弊社はRPS制度導入以来、他社より高い目標率で再生可能エネルギー導入のコストを負担してきた

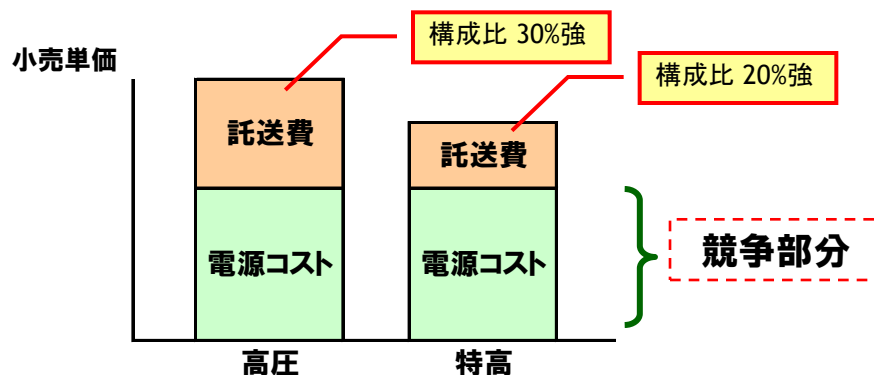
3. 系統安定化対策コストの抑制

系統対策コストの増加分が託送費用に反映された場合、自由化領域のみを市場とするPPSはお客様のコストダウン要求への対応がより厳しくなる可能性がある。需給両面からの系統対策コスト削減のため、スマートメータの早期導入やさまざまな手段を組み合わせたスマートグリッド・スマートエネルギーネットワーク等の構築を加速いただきたい。

○電力小売価格に占める託送費用の上昇について

- 小売価格における託送費用の比率が高まると、電源価格や販売管理費の抑制といった経営努力が埋没しかねない。
- 買取費用分をサーチャージとして電気料金に上乗せするスキームとなっても、自由化領域の需要家のみを市場とするPPSは常に厳しい価格交渉に直面する可能性がある。

小売単価に占める託送費の割合(イメージ)



○系統対策コストの抑制例

- ネットワークの効率化のため、電源と需要のバランスをとるスマートグリッド等の構築が望まれる。

